

# 令和7年度の復興基金事業の概要

---

令和8年3月

沖縄県



# 1. 監修会議とワーキング部会の構成と役割

- 監修会議では、学識有識者6人のほか、関係機関を協力委員として配置。【設置要綱 第3条】
- 監修会議は、製作及び監修方針をとりまとめる場であり、各分野の監修に係る詳細事項については、ワーキング部会（以下「WG部会」という。）にて検討する。【設置要綱 第2条及び第6条】
- 各分野のWG部会には、技術継承を図るため、若手を1名程度含める。

## 首里城復興基金事業 監修会議 【年2回程度開催】

製作及び監修方針をとりまとめる場  
 (1) 製作体制及び製作作業工程に関すること。  
 (2) 監修方法及び監修頻度に関すること。

委員	歴史(琉球史)	田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長 (委員長)
	歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
	彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
	染 織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
	瓦 類	与座 範弘	元 沖縄県工業技術センター 所長

※協力委員6人（県・国の関係部局より）

## 各分野のWG部会

### 彫刻WG部会

大龍柱・御差床など

西村 貞雄  
 波多野 泉  
 砂川 泰彦★

歴史系委員1名以上  
 製作技術者の代表

### 焼物WG部会

龍頭棟飾・鬼瓦

西村 貞雄  
 波多野 泉  
 森 達也★  
 山田 聡★  
 歴史系委員1名以上  
 製作技術者の代表

### 染織WG部会

垂飾（瓔珞）

寺田 貴子  
 早瀬 千明★

歴史系委員1名以上  
 製作技術者の代表

### 瓦類WG部会

屋根瓦・磚など

与座 範弘  
 花城 可英★

歴史系委員1名以上  
 製作技術者の代表

【年2回程度+適宜開催】

製作や監修方法等の詳細検討

分野別の専門家（2～3人）、歴史系委員1人以上、製作技術者の代表で構成

※WG部会のみ参加の学識者は★

# 2. 首里城復興基金事業 WG部会 監修委員 (令和6年度～)

※WG部会のみ参加の学識者は★

## 彫刻WG部会

専門分野	名前	所属
彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
彫刻	砂川 泰彦★	沖縄県立芸術大学 教授
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

## 焼物WG部会

専門分野	名前	所属
彫刻・焼物	西村 貞雄	琉球大学 名誉教授
彫刻・焼物	波多野 泉	沖縄県立芸術大学 学長
焼物	森 達也★	沖縄県立芸術大学 副学長
焼物	山田 聡★	沖縄県立芸術大学 教授
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

## 染織WG部会

専門分野	名前	所属
染織	寺田 貴子	活水女子大学 特別専任教授
金工	早瀬 千明★	護佐丸歴史資料図書館 学芸員
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

## 瓦類WG部会

専門分野	名前	所属
瓦類	与座 範弘	元 沖縄県工業技術センター 所長
瓦類	花城 可英★	元 沖縄県工業技術センター 主任研究員
歴史(琉球史)	田名 真之	前 沖縄県立博物館・美術館 館長
歴史(漆工史)	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授

# 3. 令和7年度の検討スケジュール

## 首里城復興基金事業 監修会議

検討項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
県外での調査等		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
製作資料・記録等の検討	■												令和7～8年度
監修会議						●						●	2回
彫刻ワーキング			●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	1回
焼物ワーキング										●			1回
瓦類ワーキング			●	■	■	■	■	■	■	■	●		2回
染織ワーキング				●	■	■	■	■	■	■	■	■	1回
製作及び監修	■												

月	会議	議論テーマ
9月17日	第1回 監修会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ワーキング部会の検討動向、製作・監修事項の報告</li> <li>沖縄県による復元製作の記録の編集について</li> <li>製作の各段階を示す資料の保存・活用について</li> </ul>
5月～2月	各ワーキング部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>彫刻、瓦類、染織の各分野の製作を対象に、製作・監修方針の詳細を検討</li> <li>各分野にて記録集の内容について検討</li> </ul>
3月11日	第2回 監修会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ワーキング部会の検討動向（製作・監修事項、資料の保存・活用等）の報告</li> <li>沖縄県による復元製作の記録集のとりまとめに係る報告</li> </ul>

# 4. 令和復元における監修会議での製作体制 (R6.9月時点)

- 各WG部会で検討・確認した監修会議の製作体制は以下のとおりで、各チームの情報共有・連携を図る。
- 製作体制への参加が限られるため、技術継承の裾野を広げるためにも、製作記録の活用を含めて、情報発信等については別途検討する。

## 監修会議 (親会議)

### 彫刻WG部会

#### 「チーム彫刻」

##### 石彫刻

###### 琉幸建設

- ※社内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：3人
- 中堅技術者：2人
- 若手技術者：2人

##### 木彫刻

###### 県立芸術大学

- ※大学内での学生参画を通じて次世代の技術者育成を図る。
- 熟練技術者：教授・講師など数人
- 若手技術者：卒業生・学生など数人

##### 社寺建

- ※正殿建築作業場との連携を見据え、若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：4人～数人

##### 西建設

- ※県内の学生等の見学等により次世代の技術者育成を図る。
- 熟練技術者：1人

### 焼物WG部会

#### 「チーム焼物」

壺屋陶器事業協同組合・  
県立芸術大学・前回製作者

##### 龍頭棟飾

- ※チーム内で技術者育成・技術継承を図る。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：11人

##### 鬼瓦

- ※前回製作者の指導を受けながら県内の技術者でチームを構成し、技術者育成・技術継承を図る。
- 熟練技術者：3人
- 若手技術者：6人

##### 県工業技術センター

※技術支援 (瓦類・焼物WG部会)

### 瓦類WG部会

#### 「チーム瓦類」

##### 金型製造

- ものづくりネットワーク沖繩
- ※社内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：数人
- 若手技術者：数人

##### 瓦製造

- 沖縄県赤瓦事業協同組合
- ※赤瓦製造事業者3社で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：数人
- 若手技術者：数人

### 染織WG部会

#### 「チーム染織」

##### 刺繍

###### 琉球古刺繍保存会

- ※保存会内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：10人

##### 飾玉

###### 美術院

- ※各事業者内で若手技術者の育成を行う。
- 熟練技術者：2人
- 若手技術者：1人

##### 縫製・材料調達等

###### 龍村美術織物

- ※技術支援

## 5. 本会議における検討内容

- 令和7年度の第2回監修会議の検討事項は、以下のとおり。

### 1. 各ワーキング部会の検討状況

- 製作作業期間を勘案の上、今年度に必要となる製作作業及びその監修を実施。
- 製作に用いた下絵や石膏原型などといった、製作記録の保存・活用の検討を実施。
  - 各製作物の一覧及びスケジュールについて報告（資料1～2参照）
  - WG部会の製作・検討状況について報告（資料2～5参照）

### 2. 沖縄県による復元製作の記録について

- 本事業が将来の技術継承に資するよう、製作過程の記録撮影（動画・静止画）等を行う他、製作動向に関する情報発信の状況を報告する。
  - 記録撮影の結果は次頁参照。
  - 各分野のプレスリリース等はWG部会にて報告（資料2～5参照）
- 今回の製作過程をとりまとめた記録集の編集に向け、記録集の全体構成や編集の進め方について検討を行う。詳細は各分野のワーキング部会にて確認。
  - 資料6「沖縄県による復元製作の記録について」参照

# 6.令和7年度の記録撮影

- 製作に係る映像記録及び写真撮影は、令和7年度も継続的に実施。

製作記録（動画）の撮影状況（令和7年度分、予定含む）

No.	分野	製作物名称	日付	内容
1	染織	垂飾	2025/8/19	ガラス玉製造
2	彫刻	台御差床	2025/10/21	組み立て、栓打ち
3	染織	垂飾	2025/10/24	瑞雲文切嵌め
4	彫刻	清書下図	2025/12/5	和紙の準備、にじみ止め、下書き（線の抽出）
5	彫刻	清書下図	2025/12/17	線描き
6	彫刻	清書下図	2026/1/19	仕上げ
7	彫刻	親柱上の獅子	2026/2/26	梱包の様子
8	染織	垂飾	2026/3/2	飾玉（円弧部分・大玉）の取付
9	瓦類	磚	2026/3/4	窯入れ
10	瓦類	磚	2026/3/9	窯出し
11	染織	垂飾	2026/3/25予定	飾玉（二列目）の取付



※その他製作過程の写真等あり



撮影風景

製作風景